

# 2014.4月号 広報～風・菜・樹 ふなき便り

社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業部

## 第32回フリーマーケット開催しました

4月13日（日）毎年恒例となりました扶老会地域交流フリーマーケットを開催致しました。

当時は朝から雨天となっていましたが、山口県のゆるキャラ「ちょるる」に登場していただき、また「Airy77」などのステージの出演者様には雨もかかわらず、素敵なダンスや歌を披露していました。

来場された方々、ありがとうございました。

前日準備



ゴミ箱の設置や、ステージの設営など、全員で協力して行ないました。

当日



定番の焼きそば等を販売しました！

毎回恒例となっている豚汁の無料配布もありましたよ。!



イベント

当日のイベントには、

「Airy77」「舞遊団華舞姫」「フリーダムウイングス」の方々に来ていただき、素晴らしいダンスや歌を披露していただきました。



山口県のゆるキャラ「ちょるる」に菓子撒きを手伝ってもらいました！

# QC発表会を行いました

社会福祉法人扶老会 障害福祉サービス事業部（以下、事業部）の各事業所では1年を通してQC活動（Quality Control ※サービスの質の向上を目的とした活動）を行なっています。

3月28日（金）それぞれの事業所で取り組んだ内容の発表会を行ないました。

各施設が取り組んだ内容は以下になります。

ハイツふなき：事務所の整理整頓

ヴィラふなき：土日祝日の業務の効率化と支援の向上

生活支援センターふなき：日中一時支援事業の利用者満足の向上

サムラ：利益の向上

テーマの選定理由や1年の活動計画・要因解析・目標値の設定といった共通の進め方に沿って、それぞれの事業所毎に活動報告を行ない、役付職員からの講評となります。講評については別事業所の役付職員からの講評となり、厳しい指摘も受けますが、それらを基に事業所の業務改善につなげております。同時に今年度より採点方式を取り入れられたこともあり、各事業所のモチベーション向上にもつながりました。近年の福祉サービスでは、何もしない事はサービスの維持ではなく、サービスの質の低下と言われています。今回のようなQC活動を通してサービスの維持のみならず、「向上」に繋がるよう今後とも努めて参ります。



● 取り組んだ活動の資料。



● 発表の様子。



● 佐伯所長による総評。



● パソコンを使用しての発表。

# 総合防災訓練を行いました

3月28日（金）、事業部の4事業所合同で総合防災訓練を実施致しました。

今回はヴィラふなき利用者居室からの出火を想定し、消防への通報、各棟・各事業所への連絡、利用者皆さんの避難誘導と現場の初期消火活動を実施しました。事業部では事業所毎に毎月地震や火災、夜間時といったテーマを設定して防災訓練を行なっており、今回もスムーズな通報・初期消火・避難誘導が行なえたのも日頃の訓練の賜物です。

今回の訓練を通して現場から出た意見や感想を元に、より円滑な防災活動に取り組んで参ります。



避難の様子。  
出火元から遠い、サムラ側に避難しています。  
避難経路を熟知し、的確に避難誘導します。



初期消火班が、各施設に備えている消火器を持って出動します。  
被害を最小限に抑える重要な役割です。



防火管理者による訓練の総評。職員の動き、利用者の安全確認等、改善点を評し、次に繋げます。



ビデオ学習。  
福祉施設での火災発生時は、利用者さん同士の声かけも大切だと、と感想がありました。

# サムラ 新鮮野菜売ってます！

椎茸やジャムに続き…、  
なんと！サムラの店頭で、新鮮なキャベツまでご購入頂けるようになりました。  
美祢にある社会福祉法人同明福祉会あそかの園さんからキャベツを入荷しています。  
新鮮な野菜をお客様に提供できるようになりましたが、特に新鮮なものを買うコツは、このページに  
ヒントが隠れていますので、要チェック！！ その頃がおすすめですよ！  
写真はキャベツだけですが、あそかの園さんは水菜や春菊を作りおられます。それらを使った料  
理も考案中です。これから夏に向けて、夏野菜も仕入れていきたいと思います。  
楽しみにしておいてくださいね。



## ハイツグループ 新任職員紹介

新年度が始まり、ハイツグループに3名の新任職員が入職しました。それぞれが学んできたことや、経験してきたことを発揮し、ハイツグループに新しい風を吹かせています。今後、当広報誌内「スタッフちゃんねる」で特集していくので、要チェック！

阿座上 宏樹 (ハイツふなき 生活支援員) ······

野球一筋で培ってきたやる気と根性で頑張ります。

小野 加代子 (ハイツふなき 生活支援員) ······

毎日笑顔を絶やさずに利用者さんと一緒に過ごしたいと思います。

千々松 大介 (ハイツふなき 生活支援員) ······

利用者さんとの関わりを大切にし、頑張っていきます。



# お弁当に添えた折り紙

ハイツふなきでは山陽小野田市社会福祉協議会様と連携し、宅配弁当の台紙を折り紙で作成しています。

季節に合わせた折り紙を利用者と一緒に作り、台紙と一緒にお弁当が地域の皆さんに届きます。実際にお弁当を注文されている方から折り紙についてお手紙を頂きましたので、ご紹介します。

「カメが空に飛んで、仲良し鶴が翼を天に広げて、何とうれしいことでしょう。何とも愛情たっぷりの上紙でした。この地に生きて良かった。有難さいっぱいです。」（手紙から抜粋）

これからも山陽小野田市社会福祉協議会様と連携し、皆さんに笑顔を届けていきたいと思います。



## 今月のエソラゴト

昨年末あたりから、本屋さんでウロウロしていると必ず目に入る一冊の本がありました。「心配事の9割は起こらない」というタイトルの本です。売れているみたいなので、皆さんもご存知かもしれません。心配することが仕事のような私ですので、ずっと興味があったのですが、なかなか手に取ってレジに持っていくことはありませんでした。私は、自分の立場として一番大切な仕事は、心配すること=リスクマネジメントと捉えています。これは、サービス面、経営面、組織人事面の全てにおいて言えることですが、常に「最善の結果を期待しつつ、最悪の状況を想定して準備する」というポジティブとネガティブが混在する毎日です。なので、私の頭の中では一年中色々な出来事が起こりまくって、不幸の連続です…。こんな最悪なことが全て現実に起こったら身が持ちませんが、幸いにしてそのほとんどは起こりません。だから「心配事の9割は起こらない」というタイトルがスッと心に落ちてくるのです。

先日、ようやくこの本を購入しました。多分、何かと疲れていたのでしょうか（笑）。著者の杵野俊明氏は、禅僧でありながら庭園デザイナーや大学教授を務めるマルチな才能を持ち、数年前には米「ニュースウィーク」誌で“世界が尊敬する日本人100人”に選ばれたこともある方です。本書は、複雑かつ閉塞的な社会になった現代の日常生活を禅の視点からじっくりとほぐしてくれます。何も難しいことは書かれておらず、何れもごく当たり前のことばかりですが、当たり前だからこそ心に響くこともありますし、シンプルに生きることが大切だと再認識させてもらいます。宜しければ、皆さんもご一読ください。最後に私のお気に入りの一節を以下にご紹介します。

（以下、引用）「どんな境遇も受け入れる～順境もよし、逆境もまたよし～」／日日是好日～これは毎日がよい日ばかりだという意味ではありません。人生には晴れの日もあれば、雨の日もある。穏やかな日射しに包まれることもあれば、吹きつける寒風に身をすくめることもあります。しかし、いずれの日にも、あなたはその日でなければできない実体験をする、かけがえのない経験を積む。ですから、すべてが有意な「好日」なのだ——というのがこの禅語の意味するところです。境遇があなたの生き方を左右するではありません。あなたの生き方によって境遇はどんなものにでもなるのです。

（佐伯）

## CHECK!



〒757-0216

社会福祉法人扶老会 障害福祉サービス事業部  
山口県宇部市大字船木833

ハイツふなき

(0836) 67-0188 自立訓練・宿泊型自立訓練・就労継続支援B型

ヴィラふなき

(0836) 67-1883 グループホーム(介護サービス包括型)

・生活支援センターふなき

(0836) 67-2464 相談支援事業・日中一時支援

サムラ

(0836) 67-0171 就労移行支援事業・就労継続支援B型

ホームページ

<http://www.furoukai.jp/>

ブログ <http://www.furoukai.jp/cms/heightsfunaki/>